

宣言解除後の子ども達の生活はどうなるの？

緊急事態宣言が解除になり、子ども達が保育園に戻ってきて、元気な顔が揃いホッとしています。

しかし今後、第2波、第3波が来る可能性もあることから、保育園の生活の見直しが必要になってきます。特に、子ども達の生活がどのようになるのか（保育園での感染防止対策）をお伝えします。

保育園に登園することは、“集団になる”ことで、**保育園の性質上、感染リスクを避けることはできません。**保護者の皆様もここは理解をしていただき、その中で私たちが出来る事は何か？以下、整理しました。

(私達も日常の保育の中で、子ども達の様子を観ながら、最善の方法を常に模索し、対応していこうと思っています。)

基本・職員は、3密を避けるため、マスク着用・手洗い・うがい・園内・園外（門扉など）、遊具などの消毒・

こまめな換気をしっかりと行っていきます。(これまで行ってきたことを引き続きおこないます)

子ども達には、生活中で**手洗い・うがい**をしっかりと見ていきます。



室内では・・・

室内では、0歳児6人～10人、1・2歳は10～12人の人数で遊んでいます。一部屋を区切ったり、『離れて遊ぶうね』など距離を確保して遊んだり、今の環境下では出来ません。

上記の“基本”を行いながら、子ども達には**のびのび集団で遊べる**ようにと考えています。

幼児クラスの場合（1クラス24人）も同じです。

外遊びでは・・・

園庭での外遊びは、これまで同様、時間の配分を調整しながら、乳児、幼児が重ならないように遊んでいるので、特にこれまでと変わりありません。

さんぽについて・・・

散歩は、子ども達の運動機能の発達や様々な体験ができる活動なので、これまでと同じように取り入れていく予定です。

散歩に行く場合、園児の手洗い、消毒液持参、散歩先の場所の選定も考慮していきます。

食事は・・・

0歳、1歳児クラスは、これまでも個別対応でしたので、特に変更ありません。

2歳児クラスは、6人一緒に食べていましたが、1グループずつ、2テーブルを使って、1テーブルに3人座っての2交代で食事をとります。

幼児クラスは、これまで4テーブルに6人が食べていましたが、2交代制で時間をずらして、1テーブル3人で、食事の時の子ども達の距離を確保します。(保育園も初めての経験で、場合によってはできない時もありますが、やりながら改善していきたいと思っています。)

幼児になると、**食事配膳の当番活動**が入るのですが、**配膳は大人がすることに変更**します。



テーブルの配置の例（幼児）



お昼寝は・・・

隣の児童との間隔は、空間上今まで以上に空けることができませんが、少しでも**感染防止のため頭部を互い違いにして寝ます。**



換気も気を付けていきます。



プール・水遊び・・・

プールあそびは、指導者1人+監視員2人を必ず置くことになっています。グループを分け、入っていないグループの子ども達の保育を見る保育士の人数なども必要になり、現状では職員の人数が確保できません。残念ですが、**今年のプールあそびは止めて、水遊び中心**に行うよう準備しています。

新型コロナ対策は長期間になることを視野に入れ、うまく共存しながら、子ども達の成長を守る生活を確立出来ればと思っています。